

高校生向けデータ活用 実践ワークショップ テスト開催！

2025年7月12日(土)

学校法人早稲田大阪学園 早稲田大阪高等学校
(大阪府茨木市)



エクセルを駆使しクレジット不正利用阻止に挑戦！

【生成AIとデータ活用入門】

様々な場面で生成AIが使われるようになった今日。生成AIとは何か、生成AIの仕組みや活用事例を学び、実際に生成AIを使って実習します。

ワークショップ前半は、教科書での学びを深堀する流れでAIの進化の歴史や仕組みの概要を座学で受講。後半は各自のタブレットやPCで生成AIを使い「私の学校の魅力を伝えるPRポスター案」作りのグループワークに挑戦しました。

生成AIにポスターの構成要素や出来上がりの雰囲気プロンプト(指示文)としてインプットし、オリジナルのポスターを製作します。授業の最後に出来上がったポスターを発表しクラスで共有しました。

～早稲田大阪高等学校 米田謙三先生～

高校生にとって身近なクレジットカード不正利用や生成AIというテーマで、実践的に学べる点が非常に効果的でした。生徒達がExcelを駆使してデータ分析に夢中になったり、自由な発想でAIポスター制作に取り組んだりする姿は頼もしく、深い学びがあったと感じています。この授業を通じて、さらにデータ活用の面白さに気づき、将来の進路選択の一助となることを期待しています。

【活動概要】

「IT教育の支援」は公益財団法人CTC未来財団の事業の柱の1つです。

今回、対象を高校生に広げて、データ活用に関する2つのワークショップを早稲田大阪高等学校のご協力をいただき、テスト開催しました。

【クレジットカードの不正利用を暴け！】

18歳成人となりクレジットカードの契約が高校生でも可能となりました。2024年度、クレジットカードの不正利用総額は、555億円。1日に1.5億円が不正利用されています。不正利用の検知は、「カードの利用に関するデータ」を分析します。本ワークショップでは本番さながら、カードの利用場所から自宅までの距離、購買金額など、生徒達がエクセルで様々な条件を設定し、実際のクレジットカード利用データを使い不正利用を暴くルールを考えます。ルールの完成度は100点満点の点数で判定されます。より高い精度にするために、どんなデータをセットすればいいのか、考え方は様々です。中には、それぞれの利用シーンを仮定した上で組み合わせを考え、エンジニアも出したことのない高得点を出した強者も現れました！



作り出したポスターを自分の言葉で説明

～事務局コメント～

高校生にとってクレジットカードはなじみが薄いものだったかもしれませんが、それでも生徒達は不正を検知するための鍵となるデータ探しに夢中になっていました。生成AIによるポスター制作では自由な発想を駆使。いずれのワークショップも生徒達の頼もしさを感じ、私達エンジニアも刺激をもらいました。